

令和5年度下水道事業 上半期業務状況説明書

1 事業の概要

主な建設改良工事の執行状況（100万円以上）

	工事名	工期	契約額（円）
	該当なし		

2 経理の状況

(1) 予算執行状況

収益的収入及び支出

区 分		予算額（円）	執行済額（円）	執行率（％）
収 入	1 公共下水道事業収益	144,399,000	44,821,080	31.0
	1 営業収益	34,312,000	16,314,510	47.5
	2 営業外収益	110,086,000	28,506,570	25.9
	3 特別利益	1,000	0	0.0
支 出	1 公共下水道事業費用	144,010,000	33,564,472	23.3
	1 営業費用	138,599,000	30,824,443	22.2
	2 営業外費用	5,361,000	2,740,029	51.1
	3 特別損失	50,000	0	0.0

資本的収入及び支出

区 分		予算額（円）	執行済額（円）	執行率（％）
収 入	1 資本的収入	34,554,000	34,893,190	101.0
	1 負担金及び分担金	100,000	439,190	439.2
	2 他会計出資金	34,454,000	34,454,000	100.0
支 出	1 資本的支出	38,713,000	18,900,227	48.8
	1 建設改良費	748,000	0	0.0
	2 企業債償還金	37,965,000	18,900,227	49.8

(2) 損益計算書

令和5年度住田町下水道事業損益計算書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 下水道使用料	14,779,100		
	(2) その他営業収益	57,500	14,836,600	
2	営業費用			
	(1) 管路施設管理費	595,279		
	(2) 処理場施設管理費	6,187,939		
	(3) 総係費	3,166,464		
	(4) 減価償却費	40,023,000	49,972,682	
	営業利益			△ 35,136,082
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	570		
	(2) 負担金補助金及び報償金	12,512,000		
	(3) 他会計補助金	15,983,000		
	(4) 長期前受金戻入	31,913,500		
	(5) 雑収益	11,000	60,420,070	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	2,740,029	2,740,029	57,680,041
	経常利益			22,543,959
	当年度純利益			22,543,959
	前年度繰越利益剰余金			23,770,457
	その他未処分利益剰余金変動額			0
	当年度未処分利益剰余金			46,314,416

下水道事業会計
全事業合計

令和5年度住田町下水道事業貸借対照表
(令和5年9月30日)

(単位：円)

資産の部			
1. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ. 土地		9,421,186	
ロ. 建物	104,860,788		
減価償却累計額	<u>△ 11,832,436</u>	93,028,352	
ハ. 構築物	1,651,401,185		
減価償却累計額	<u>△ 173,013,854</u>	1,478,387,331	
ニ. 機械及び装置	223,333,725		
減価償却累計額	<u>△ 155,189,651</u>	68,144,074	
ホ. 工具器具及び備品	367,215		
減価償却累計額	<u>0</u>	367,215	
有形固定資産合計			1,649,348,158
(2) 無形固定資産			
イ. その他無形固定資産		27,084,410	
無形固定資産合計		<u>27,084,410</u>	
固定資産合計			<u>1,676,432,568</u>
2. 流動資産			
(1) 現金預金		141,589,275	
(2) 未収金	14,469,408		
貸倒引当金	<u>0</u>	14,469,408	
(3) その他流動資産		<u>787,318</u>	
流動資産合計			<u>156,846,001</u>
資産合計			<u><u>1,833,278,569</u></u>

負債の部

3. 固 定 負 債			
(1) 企 業 債			
イ. 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	245,682,917		
ロ. その他の企業債	15,960,000		
企 業 債 合 計		261,642,917	
(2) その他固定負債		210,000	
固 定 負 債 合 計			261,852,917
4. 流 動 負 債			
(1) 企 業 債			
イ. 建設改良費等の財源に 充てるための企業債	17,309,333		
ロ. その他の企業債	1,755,000		
企 業 債 合 計		19,064,333	
(2) 未 払 金		572,347	
(3) その他流動負債		1,477,910	
(4) 引 当 金			
イ. 賞与引当金	4,307		
ロ. 法定福利費引当金	27,350		
引 当 金 合 計		31,657	
流 動 負 債 合 計			21,146,247
5. 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金		1,560,453,867	
長期前受金収益化累計額		△ 291,354,593	
繰 延 収 益 合 計			1,269,099,274
負 債 合 計			1,552,098,438

資本の部

6. 資 本 金			234,865,715
(2) 利 益 剰 余 金			
イ. 当年度未処分利益剰余金	46,314,416		
利 益 剰 余 金 合 計		46,314,416	
剰 余 金 合 計			46,314,416
資 本 合 計			281,180,131
負 債 資 本 合 計			1,833,278,569

3 令和4年度決算の状況

(1) 業務の状況

令和4年度末の下水道の普及状況は、処理戸数が前年度比10戸増の855戸、処理区域内人口は前年度比26人減の1,726人となり、処理区域内人口に対する水洗化人口は前年度比25人減の1,532人で、水洗化率は、前年度比0.11ポイント減の88.76%となった。

年間総処理水量及び有収水量の状況は、年間総処理水量が前年度比8,555 m³ (5.07%) 減の160,287 m³、年間総有収水量は前年度比7,300 m³ (4.47%) 減の156,031 m³、有収率は前年度比0.60ポイント増の97.34%となった。

(2) 建設改良等の状況

マンホールポンプにおいて、耐用年数が過ぎ不具合が発生した清水沢マンホールポンプの水の中ポンプ等の更新工事を実施し、老朽化した電気機械設備の更新を図った。また、施設更新計画となる「住田町特定環境保全公共下水道ストックマネジメント基本計画」を策定し、令和5年度には施設の点検調査を実施し、その結果を基に今後5カ年の施設更新計画を策定する。

(3) 収入及び支出の状況

ア 収益的収入及び支出（税抜き）

事業収益は前年度比23,465,450円(12.97%)減の157,419,277円であり、その内訳は、下水道使用料等の営業収益が前年度比613,340円(1.94%)減の31,055,370円、長期前受金戻入等の営業外収益が前年度比23,379,110円(15.67%)減の125,836,907円、特別利益が527,000円である。事業収益の減は、総務省の繰出基準に基づく一般会計補助金の減、元金償還に充てた一般会計補助金分の長期前受金戻入額の減が影響している。

① 収益的収入及び支出（税抜き）

事業収益は前年度比29,258,603円減の128,160,674円であり、その内訳は、下水道使用料等の営業収益が前年度比1,225,080円減の29,830,290円、長期前受金戻入等の営業外収益が前年度比27,506,523円減の98,330,384円である。事業収益の減は、総務省の繰出基準に基づく一般会計補助金の減、県代行事業により実施した下水道施設の減価償却の終了による長期前受金戻入額の減が影響している。

一方、事業費用は前年度比21,054,022円減の120,377,736円であり、その主な内訳は減価償却費等の営業費用が114,051,442円(15.39%減)、企業債利息等の営業外費用が6,326,294円(4.77%減)である。事業収益から事業費用を差し引いた当年度純利益は前年度比8,204,581円減の7,782,938円となった。また、営業収益と営業費用を見ると、84,221,152円の営業損失となったことから今後経営健全化に取り組んでいく必要がある。

② 資本的収入及び支出（税込み）

資本的収入は前年度比5,079,230円増の38,956,300円であり、その内訳は、負担金及び分担金312,300円(60.32%減)、国庫補助金4,840,000円、出資金が33,804,000円(2.16%増)で

ある。

一方、資本的支出は前年度比 14,394,174 円増の 51,071,071 円で、内訳は、建設改良費 13,756,600 円、企業債償還金 37,314,471 円（1.74%増）である。資本的支出の総額の増は、令和 4 年度において建設改良工事を実施したことによるものである。

資本的収入額が資本的支出額に不足する額 12,114,771 円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 439,482 円、過年度分損益勘定留保資金 11,675,289 円で補填した。

年度末の企業債残高は前年度比 37,314,471 円減の 299,607,477 円で、下水道使用料等に対する割合は 1,012.69%となっており、多額の企業債償還負担のもとで今後の施設更新費用を捻出していくため、施設規模の見直しと効率的な利用に加え、適切な財源の確保が不可欠となっている。

（４）経営指標に関する事項

令和 4 年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、一般会計繰入金の減に伴う経常収益の減少により、前年度比 4.46 ポイント減の 106.47%となったが、健全経営の水準とされる 100%は上回っている。また、適正な使用料の妥当性を示す経費回収率は、下水道使用料の減及び污水处理費の増に伴い、前年度比 17.27 ポイント減の 89.61%となった。一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 4.10 ポイント増の 15.10%となっている。

〈経営指標の推移〉

経営指標	R2	R3	R4
経常収支比率	126.45%	110.93%	106.47%
経費回収率	63.94%	106.88%	89.61%
有形固定資産減価償却率	5.49%	11.00%	15.10%

※経常収支比率＝（経常収益/経常費用）×100

経費回収率 ＝（下水道使用料/污水处理費）×100

有形固定資産減価償却率＝（有形固定資産減価償却累計額/償却資産帳簿原価）×100